

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2014年	インターン番号	TA1031	タイプ	提案型
派遣国	タイ王国		派遣都市	サムットプラカーン	
受入機関	RS CANNERY COMPANY LIMITED				
受入機関概要 (事業内容等)	ツナ缶詰、レトルトパウチ食品の製造				
派遣期間	2014年9月3日 ~ 2015年3月1日				
現在の所属先	株式会社ホテイフーズコーポレーション		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	販売部 東京支店		所在地	東京都	
区分	中小企業		性別	男性	

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

受入機関は弊社製品の委託生産をおこなっており、コミュニケーションの円滑化と強固なコネクションを獲得するために製造技術、品質管理、販売促進に関する基礎知識を習得する機会を求めていました。また、今後更なる海外展開促進を図るために、新商品開発に関わる知識および情報を収集する必要があり、インターンシップに参加しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

ツナ缶詰の生産関連の業務を幅広く確認・検査業務を体験するとともに、チェックシート等から情報整理しました。また、新商品の生産が立上げとなったため、スペックの確認、値段の設定・交渉、ブランドオーナー来客対応、生産立会い等の一連の業務を体験することができました。さらに、容器サプライヤー視察や現地での営業商談への同行と、幅広い活動ができました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

海外における製造現場、品質管理、新商品立上、商談等を実際に体験できたことで、今後私が海外事業に携わっていくための基盤を成形ができたと感じています。また、今回のインターンシップのコネクションをきっかけにして「CP ALL」というタイのセブンイレブンと商談をおこない、カタログ販売を開始することができたことで、自信を深めることができました。

弊社はタイ国に子会社をもっており、タイ人とのコミュニケーションは重要です。インターンを通じてタイ人の気質を感じることができたこと、タイ語の習得ができたことにより、コミュニケーション能力を高めることができました。また、異文化への対応を経験したことは、タイ国以外での業務にも必ず役に立つと確信しています。

インターンシップ風景 ①



製品検査の様子



打合せの様子

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

帰国後、私は東京支店に異動となりましたが、インターンシップにおいて現地で学んだ製造過程や、現地での品質管理の知識を武器にし、日々営業活動をしています。

営業活動の中で、お客様(バイヤー)は製造工程や、品質管理などの質問をよくされます。私は現地で実際に見て、作業をして、学ぶことが出来ましたので、相手に詳しく説明できています。

他にもインバウンド消費が進む流れで、現地で多少上達した英語を利用し、簡単な英訳や和訳の業務もするようになりました。インターンで海外から日本に輸出する立場から物事を見ることで自身の知識基盤ができたので、これから日本から海外への輸出業務が増えていく中での業務にもスムーズに行えるように思います。

まだ、帰国し約半年しか経っていないため、すべてを活かしきったわけではないですが、これから徐々に自身の業務に活かしていきます。可能であれば海外事業室で働き、インターンシップでの経験をフルで活用し海外とのやり取りをしていきたいと考えています。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

今まで海外で生活してきた方、留学されていた方、またはまったく海外へ行かれたことない方でも必ずよい経験を積むことが出来ます。また、JETROやHIDAの皆さまのバックアップもあり、安心して活動に取り組むことが出来ます。迷っているならばチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。There is no reason not to follow your heart.